

授業科目 (ナンバリング)	地球環境と倫理 (N4D226)			担当教員	佐藤 博		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
地球環境問題に対しては倫理的観点から考察する必要がある。日本では危機感や保全意識は、他国に比較すると必ずしも高くない。消費経済が異常に発展し、生産と消費が遠く隔離された事、飽衣・飽食に慣らされた事などが原因かも知れないが、よくわからない。このような状況下にあつて、持続可能か否かを地球規模で考え、地球環境問題に関する理解を深め、有限な地球環境に相応しい人間の生き方について、トピックスを含めて課題について一緒に考えていく。							②⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	(1) 地球環境や環境汚染を倫理的観点から説明できる (2) 地球規模の環境汚染対策を倫理的観点から説明できる				授業態度/授業への参加度・討論	5%	
情報収集、分析力	(1) 地球環境に対する危機感や保全意識を持ち続けるための情報を倫理的観点から収集することができる (2) 地球環境に関する専門的な知識や技術を倫理的観点から社会生活の場で活用できる				定期試験 小テスト	15% 20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	生物多様性の保護について自らの考えを述べることができる。				定期試験 小テスト	30% 30%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
講義、配布資料、パワーポイント等の内容範囲から確認のための小テストを毎回（最終日除く）実施し、50%の評価とする。定期試験は45%の評価とする。内容については講義の中で指示する。小テストは必要に応じてコメントと共にフィードバックする。授業中の態度5%を加味し、これを基に長崎国際大学の成績評価基準に準拠して評価する。							
授業の概要							
講義を主体とし、配布するプリントに沿って講義を進める。また、適宜、配布した新聞記事等で討論を行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない 参考書：講義時に適宜紹介する 指定図書：「新・環境倫理学のすすめ」(丸善) 加藤 尚武(著)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
疑問点があったら積極的にいつでも質問して自分のものにして欲しい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到達目標 番号*
1	コモンズの悲劇	共有資源の乱獲 資源の枯渇 共有地の悲劇	配布プリントでコモンズの悲劇について復習する。	6
2	環境倫理学の基礎	功利主義、義務論	配布プリントで環境倫理学の基礎について復習する。	72
3	環境倫理学の歴史	沈黙の春 SDGs 生命の誕生と寿命、生態系	配布プリントで環境倫理学の歴史について復習する。	28
4	世界の食糧問題	食糧不足の原因、対策、日本の食糧事情	世界の食糧問題に関する新聞記事を集め、配布プリントで復習する。	
5	持続可能性とは何か	サステナビリティ（持続可能性）、SDGs、ブルントラント報告」（国連環境と開発に関する世界委員会、1987年）	持続可能性とは何かに関する新聞記事を集め、配布プリントで復習する。	
6	地球の温暖化	温室効果ガスの増加と気温の上昇、温室効果ガス、温暖化の影響、国際的な取組み、二酸化炭素の削減技術	温暖化に関する新聞記事を集め、配布プリントで復習する。	
7	酸性雨	大気汚染物質と雨の酸性化、大気汚染物質の発生源、我国に於ける自動車問題、大気汚染物質の広域拡散、各地の酸性雨による被害、酸性雨の生成機構、酸性雨と大気汚染物質による被害、国際的な取組み、SOx・NOxの削減技術	配布プリントで酸性雨について復習する。	
8	森林破壊と熱帯雨林の減少	世界の森林、熱帯雨林、森林の役割、森林および熱帯雨林の減少の原因、森林破壊の隠れた影響、珊瑚礁の破壊、南極の環境汚染、国際的な取組み、我が国におけるゴルフ場問題	配布プリントで森林破壊と熱帯雨林の減少について復習する。	
9	砂漠化	砂漠と砂漠化、砂漠化の原因、砂漠化による古代文明の滅亡、砂漠化の現状、国際的な取組み、砂漠緑化のための技術	砂漠化に関する新聞記事を集め、配布プリントで復習する。	
10	野生生物の絶滅	野生生物の現状、世界の動物地理区、野生生物の国際取引、漢方薬原料用動植物、国際的な取組み、日本に於ける野生生物問題	野生生物の絶滅に関する新聞記事を集め、配布プリントで復習する。	30
11	有害廃棄物の拡散	有害廃棄物の越境移動、河川・地下水の汚染、海洋の汚染、国際的な取組み、現在話題の有害化学物質、POPsによる環境汚染、内分泌かく乱物質（環境ホルモン）による生物の危機、原子力発電所	有害廃棄物に関する新聞記事を集め、配布プリントで復習する。	
12	新エネルギー源の開発とエネルギーの効率的な使用	新エネルギー源、エネルギーの効率的な使用、節約型日常生活への転換	配布プリントでエネルギーについて復習する。	
13	廃棄物のリサイクルと最終処分	リサイクルの意義、廃棄物の種類と処理方法、リサイクルの現状、リサイクルの公共政策、諸外国の例、ごみの最終処分	配布プリントで廃棄物のリサイクルについて復習する。	
14	環境志向の経済	環境の経済価値、社会生態学的商品、生態学的経済システムと社会制度の改革、商品の生涯評価	環境の経済に関する新聞記事を集め、配布プリントで復習する。	
15	全体のまとめ	講義のまとめ・確認	これまでの配布プリントを読み、講義を振り返る。	43, 47
16	定期試験	筆記試験		

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。